市史編さんへ市民の力
600件に上る石造遺物調査

市民のボランティアによる「石造遺物調査」の最終報告会が二月四日に行われ、調査員二十人から約六百枚にも上る調査カードが市史編さん室に提出されました。

この調査は、市民の応援を得ながら新潟市史の編さんを進めている市史編さん室が「道端や空き地に眠る石造遺物などを調査、勉強し、市史づくりにお手伝いを!」と呼びかけて、昨年八月から十一月の四カ月間、行われたものです。

調査カードにはいずれも熱心な調査のあとがうかがわれ、市内各地の石造遺物が一体ずつカードにまとめられて大きな成果を上げました。

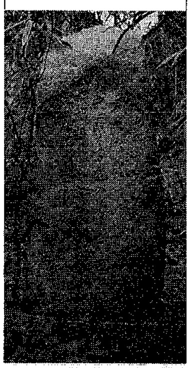
市史編さん室では三月をめどに、調査報告書を作成、今後の市史づくりに役立てていきたい、としています。

主な調査結果は写真などのとおり。

問い合わせ　市史編さん室(☎内線400番、401番)へ

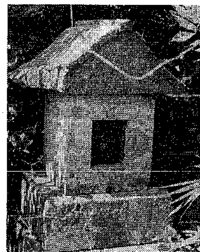
文学碑

鳥屋野神社に芭蕉句碑があった。芭蕉が実際に訪れたかどうかは不明だが、農村部でも江戸期には俳諧(はいかい)が盛んだったことがうかがえる—近江・水野徳次さん調査—



備前焼のこま犬

白山神社の境内に一対の備前焼(陶磁器)のこま犬があった。これは、県内では三島郡寺泊町に確認されているだけ—女池・小林信義さん調査—



ツツガムシ祠(ほこら)

阿賀野川沿岸に存在。ツツガムシを神として祀(まつ)り、災いを免れようとした。ツツガムシを住民がいかに恐れていたかが表れている—新崎・伊藤　昇さん調査—

「村の時計台」台座

この台座の上部に昔は「ボンボン時計」があった。今は墓地の塀の中に繰り込まれている—島見町・有田正四郎さん調査—

排水機創設 先覚の碑

石山の村社諏訪神社にある。たん水に悩まされた石山地区農民の苦闘の歴史が物語られている—中野山・網島甲子郎さん調査—

新潟市史 よもやまばなし (45)

花嫁大募集

寛政元(一七八九)年十一月、幕府は新発田藩に対し村替えを命じた。

蒲原郡のうち九十二カ村二万石を上知(返納)。代地は陸奥信夫郡(むつしのぶぐん=現福島市の一部)・田村郡・楢葉郡(ならばぐん=現双葉郡)のうち二十三カ村というものであった。肥えた土地と、やせた土地とを交換させられた新発田藩の財政は大打撃を受けた。

寛政三年、藩は通達を出す。「新領三郡とも人が少なく、せっかく家屋敷や田畑があるのに嫁不足で渡世しかねる者が多いので、当地からどんどん嫁に行くように。もし、貧乏で嫁入りできない者には、藩が面倒をみてやる。また、田畑が余っているから、家中(藩士)の二、三男はじめ、日ごろ出稼ぎに出ている者は新領へ奉公に出るように。田畑の開作に慣れている者は引っ越しを許す」という内容である。これが新発田・沼垂両町検断、蒲原横越組外、組組大庄屋をはじめ藩士に至るまで漏れなく出されている。

この時代の関東・奥州は天明の大飢饉(ききん・一七八二~八七年)以来すっかり人が減っていたため、幕府は天明八年十二月、触れ書きを出した。「陸奥・常陸(ひたち)・下野(しもつけ)の国は手不足で荒れ地が多いから、天領、私領を問わず、できるだけ出稼ぎに行くように。他村に出ている者は呼び戻し、あるいは軽罪で村を追放されている者でも、その村から願いが出れば調べ直しの上罪を免じて帰村を許すから、陸奥・常陸・下野へ出稼ぎに行くように」と命令している。

「陸奥」の新発田領

このように幕府、藩ともに、東国への出稼ぎ・嫁入りを奨励したが、実際はどうであったであろうか。女池の新田家に残る寛政十(一七九八)年の御用留(ごようどめ=触れ書きの控え)に「新領田村郡へ嫁入りする希望者はないか」という藩のお達しに対し、「女池六カ村相ただし候えども右望みの者御座無く候」と答えたことが記されている。

この地方では、人気はあまりよくなかったようだが、全県的にみると移住者もかなりあったようで、実態はいま一つ定かでない。

(市史編さん室)

姉妹・友好都市へ「市民友好の翼」
この夏、フライトします

市制一〇〇周年協賛「新潟市民友好の翼」の参加者を募集中です。市民レベルの国際交流に、あなたも一役買いませんか。

ガルベストン　八月十八日から同二十六日まで、成田発。ガルベストンでは一般家庭でホームステイを経験、ラスベガス、グランドキャニオン、サンフランシスコを回り観光や見学をします。定員は三十人。費用は三十三万五千円。

ハバロフスク　三コース制でいずれも七月三十一日に新潟を出発、ハバロフスクへ。Aコースはモスクワ、レニングラードを訪問し、八月七日に帰国。Bコースはモスクワとトビシリを巡るコースで、同七日帰国。Cコースは同四日に帰国するまでハバロフスクに滞在するもの。定員と費用は、Aコースが定員三十人で二十九万八千円、Bコースは二十人で三十一万八千円、Cコース十五人で十九万八千円。

ハルピン　三コース制で、A、Bコースは八月三十日、Cコースは同二十八日に成田から出発。三コースとも北京で宿泊のあと、九月一日ハルピン市でハルピン・新潟友誼園の開園式に出席、交歓会で親善を深めてもらいます。Aコースはその後もハルピンに滞在し同五日に帰国。Bコースは長春、大連、上海を巡って同六日に帰国。Cコースは上海、蘇州を訪問し同四日に帰国。定員は各コースとも二十人。費用はAコース二十八万五千円、Bコース二十九万四千円、Cコース二十九万八千円。

申し込み　新潟国際友好会館(☎225—2777)へ

旅館等経営研究会
講演「新潟のまちづくり」

日時　2月14日午後1時半～3時
会場　オークラホテル新潟3階
講師　長谷川義明・市助役
申し込み　あす13日までに、電話で商業観光課(☎内線329番)へ

くらしと消費税、年金問題のゆくえを考える

日時　2月17日午後1時～4時
会場　中央公民館
内容　わかりやすい消費税などとくらしのかかわり合い、年金保険問題の現状とこれからの展望
申し込み　当日会場へ
問い合わせ　市連合婦人会・橋本(☎245—2575)へ

女性に関する身近な法律

日時　2月14日午前10時～正午
会場　中央公民館
講師　馬場泰(弁護士)
内容　相続、遺言、契約などの法律問題について専門家から話を聞く
会費　300円
申し込み　21世紀のシルバープランを創る会(☎223—4680)へ

思春期電話相談室

親、友だち、先生にも相談できずお悩みの方、思春期のお子さんのことでお悩みの方、お気軽に相談を
電話相談日　毎月第1・3土曜日午後1時～4時
相談先　市母子保健センター思春期相談室(上大川前通2 ☎223—3035)へ

第5回中地区少年の主張
聴いて下さい僕たち・私たちの主張を!

日時　2月19日午後1時半～4時
会場　中地区公民館
発表者　小学生12人(4小学校)、中学生6人(2中学校)
問い合わせ　会場(☎271—0017)へ

木目込み人形作り講習会

日時　3月2日～4月20日第1・3木曜日午前9時半～正午
会場　石山地区公民館
定員　10人　　**材料費**　7,000円
持参品　ハサミ、のり、エプロン
申し込み　2月25日までに電話で鈴木嘉子(☎276—3619)へ

アンバランスのバランス
合唱連盟 発声講習会

日時　2月26日午後1時～5時
会場　第二恵光幼稚園(女池3)
参加費　500円
問い合わせ　清水(☎262—8204)へ

津軽三味線教室

日時　毎月第1・3水曜日午前9時半～午後1時
会場　坂井輪コミュニティセンター
会費　月3,000円
申し込み　萱森(☎233—7125)へ

おさかな教室

日時　2月16日午前9時～午後1時
会場　中央公民館
内容　講演「魚と健康」、調理実習「おさかな料理コンクール全国大会入選作品からイワシ料理などを作ります」
定員　先着40人
持参品　エプロン、包丁、ふきん、筆記具
申し込み　あす13日午前9時から電話で県水産振興基金(☎241—0151)へ

赤塚・中野小屋・内野
3地区婦人のつどい

日時　2月22日午前10時～午後3時
会場　西地区公民館
対象　3地区在住の婦人
内容　家庭での悩みなどそれぞれの分科会に分かれて話し合う、講演ほか
参加費　100円
申し込み　電話で会場(☎261—0031)へ

佐潟の野鳥に親しむつどい

期日　2月25、26日(1泊2日)
会場　県立青少年研修センター(巻町)
対象　小学校5年生以上、先着50人
参加費　2,000円
申し込み　会場(☎0256—77—2111)へ
問い合わせ　西地区公民館(☎261—0031)へ

いつでもだれでも踊れる
リズムエクササイズ講習会

日時　3月8日午前10時～午後3時
会場　市体育館
対象　市内在住の婦人200人
持参品　運動着、運動靴、200円(保険料、資料代)
内容　カサピアンカほか数曲
申し込み　2月23日までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を明記し体育課(〒951 一番堀通町3—12市分庁舎内、☎229—6633)へ

第2回県高校教育文化芸術展
ふれあい展

会期　2月15日～22日(2月20日を除く)
会場　市美術館
内容　絵画、彫塑、書道、写真、版画、工芸など(高校生、教職員の作品)
問い合わせ　県高等学校教職員組合(☎265—4151)へ

北部コミセン会場料理教室

日時　3月9日午前10時～午後1時
定員　25人　　**会費**　500円
内容　忙しい時のスピード料理(ミックスピラフ、カキのチャウダーほか)
申し込み　会費を添えて会場(附船町1、☎223—0791)へ